

四国の大学の研究者が東北地方の被災地調査を実施します。

四国内の3つの大学（徳島大学、愛媛大学、高知大学）の研究者が調査団を結成し、東北地方太平洋沖地震・津波によって甚大な被害を被った東北地方の被災地調査を行います。

これは、（社）土木学会四国支部と四国地方整備局が協力して、実施することとなったものです。

調査団は3月30日（水）から出発する先遣調査団と、4月16日（土）から出発する第2次調査団からなりますが、このうち、先遣調査団の構成、調査行程が別紙のとおり決まりましたのでお知らせ致します。

なお、第2次調査団の構成や調査行程につきましては、現在、調整中であり、決まりしだい別途お知らせ致します。

先遣調査団は別紙のとおり3月31日（木）と4月1日（金）の2日間、仙台平野の沿岸部（仙台空港周辺を含む）や塩釜港周辺、石巻港周辺において、津波の痕跡や被害特性等を調査し、四国における津波対策に緊急的に反映させるべき事項等について把握することとしています。

なお、四国内各大学や四国地方整備局関係者、各県・市町村の防災担当者を対象とした調査団報告会を下記のとおり開催致しますので、併せてお知らせ致します。（詳細は別途お知らせ致します。）

記

日時：平成23年4月12日（火） 14：30～16：30

場所：四国地方整備局 13F 災害対策室

概要：①先遣調査団による被災地調査報告

②四国地方整備局 T E C – F O R C E 活動報告

③第2次調査団の予定説明

④その他

※取材の制限はありません。

平成23年3月29日
国土交通省 四国地方整備局

※本施策は四国圏広域地方計画「NO.6 防災力向上プロジェクト」の取組に
関連します。

問い合わせ先

国土交通省四国地方整備局

企画部 技術企画官 佐野 正佳（内線 3126）

TEL（087）851-8061（代表）

1. 調査団構成 (大学関係者 敬称略)

団長	高知大学農学部教授	大年 邦雄
	〃 准教授	原 忠
愛媛大学防災情報研究センター		
	東南海・南海地震研究部門長	木下 誠也
	愛媛大学大学院教授	岡村 未対
	徳島大学大学院教授	村田 明広

2. 概ねの行程 (※現地状況等により変更する場合があります)

3月30日 (水) 各大学から出発 夕刻 仙台市内到着
3月31日 (木) 津波痕跡地 1 調査：仙台空港並びに周辺
津波痕跡地 2 調査：塩釜港周辺
4月 1日 (金) 津波痕跡地 3 調査：石巻港周辺
4月 2日 (土) 仙台から各大学へ